

# ARC 報告会レポート

2000年3月23日(木)午後

1時より立命館大学のアート・リサーチセンター(ARC)多目的ルームに

おいて、学術フロンティア推進事業による研究プロジェクトの研究成果の報告・発表会が開催されました。GAPはARCの研究プロジェクトとして籍を置き活動をしています。発表会では、多種多様な8つのプロジェクトからの報告・発表があり、GAPでもARCの研究プロジェクトとしてその概要と取り組みを紹介しました。

アーカイブ・プロジェクト

稲葉 光行(政策科学部助教授)

(5) 古澤瑠璃の本文構造について  
索引の作成から、

金子 貴昭(文学研究科博士課程  
前期課程)

講師)

(6) 源氏物語サイバープロジェクト

松浦あゆみ(京都女子大学非常勤  
講師)

講師)

(7) 都をどりと映像化

岡田万里子(衣笠総合研究機構ボ  
ストドクトラルフェロー/無形文化  
財デジタルアーカイブプロジェクト)

(8) モーションキャプチャデータ

八村広三郎(理工学部教授/モー  
ションキャプチャ・プロジェクト)

松本敏良(理工学研究科博士課程  
前期課程)

(2) 「エチオ・ジャパン」とアー  
ト・マネージメント―舞台監督の立  
場からプロジェクトを振り返って―

池田 章子(社会学研究科博士課  
程前期課程/エチオ・ジャパン・プ  
ロジェクト)

(3) ゲームアーカイブプロジェクト

稲葉 光行(政策科学部助教授)

(4) インテリジェント・デジタル

も目を向けなくてはならないので

は、というご意見などを受け一つの  
よい刺激になったと感じています。

多くのプロジェクトが発表された  
ので、全てを書くことはできません  
が、いくつかの他のプロジェクトに  
ついて、書いていきたいと思いま  
す。

まず、GAPのプロジェクトのひ  
とつであるgame++が共同してい  
るインテリジェント・デジタルアー  
カイブ・プロジェクト(通称kaehna  
project)。このプロジェクトでは  
現在commonsシステムと呼ばれる  
WEB上のアーカイブシステム  
を開発&試験運用中。これはweb  
中の文字列に対して、自由に注釈を  
つけていくことができるので、こ  
のプロジェクトの目的でもある「知  
識共有と創造のためのプラットフォーム」  
作りへの第一歩に当たるもので  
す。

現在は、このcommonsシステムの  
コンテンツとして、短編小説や論文  
などが掲載されています。game++  
では、これにゲームというコンテン  
ツを乗せようと考えています。

次に、源氏物語のサイバープロジ  
ェクトです。

これは、あの紫式部の「源氏物語」  
をまるごとアーカイブしようといっ  
試みの活動です。またアーカイブ制

作自体は、進行途中とのこと。初心  
者が源氏物語に触れやすく、理解し  
やすいように、源氏のモデルを公募  
するなど、遊びの要素を感じさせる  
活動のように思いました。こちらの  
プロジェクトでは、源氏物語データ  
ベースとして、webページでも公  
開をされています。\*関連URL参照

最後に発表された「モーション  
キャプチャデータからの舞踊譜  
「agaboots」の生成」は、テレビ  
ゲームを扱うGAPにとって非常に  
興味深いプロジェクトでした。目的  
は、モーションキャプチャーで取っ  
た身体動作のデータを元に、『舞踊  
譜』を自動生成するシステムを作る  
というもの。舞踊譜とは、舞踊の世  
界で身体動作の記録手段として使わ  
れる譜面なのだそう。実際に踊っ  
ている様子をモーションキャプチャー  
で記録し、舞踊譜にする。そしてそ  
れを編集・加工・印刷できるように  
なる、とのこと。こういった特殊な  
『フォーマット』が動きというものを  
記録するアーカイブには必要とな  
れているのかも知れません。

このシステム自体はまだ開発中な  
のだそうですが、どのように利用さ  
れるのが非常に楽しみなところで  
もあります。

今回は、ARCという同じ場で、



TEXT  
田 口

芸術、文学、舞踊、ゲーム、デジタ  
ルといった様々な指向や視点を持つ  
たプロジェクトが集まったこともあ  
り、かなり幅の広い研究発表会となっ  
たように思います。発表会後には関  
係者が集まり親睦会を行うなど、A  
RCにおいての人的ネットワークづ  
くりといった意味も多く含まれてい  
たのではないだろうか。文化やアー  
トを次世代に残すといつ共通認識を  
持った多分野の方々の研究に触れる  
ことで、GAPにとっても、また他  
のプロジェクトの方々にとっても、  
いい刺激になったのではないかと感  
じました。

関連URL

・ ARC

<http://www.ritsumei.ac.jp/>

<http://www.rts.ac.jp/>

<http://www.kaehna-project.com/>

<http://www.arc.ritsumei.ac.jp/>

<http://www.genjdb.org/>

<http://www.hinet.os.ritsumei.ac.jp/>

[http://www.shinobu/genjdb.org/](http://www.shinobu.genjdb.org/)

h m